

ひまわりプロジェクト 2017

事務局からの お知らせ



◆障がいを持つ仲間が綴る「ひまわりブログ」

寒かったり暖かかったりと寒暖の差が激しい日々だが、ふとした陽気に春の気配を感じ季節となった。

一年前のこの時期に始まったひまわりプロジェクト二〇一六は、北は北海道から南は鹿児島まで、個人協力者五四件、協力団体一九八件、合わせて二五二件の方々が栽培に携わることとなった。更にこれらの協力者・協力団体の中には地域の人々や学校などの取りまとめを行っている箇所も多く、相当な数の人々がひまわりを通じて繋がっていると言える。

春に発送した種の総量は約三三・六キログラム。それらが全国で芽を出し花を咲かせ、そこから収穫されて協力者達から返送されてきた種の総量は一一九〇キログラム、およそ一・二トンである。それら

の種は順次協同製油に運ばれひまわり油となっている。また一部の種はベシック翹にて障がいを持つ仲間達の手によつて一つひとつ殻を剥かれ、クッキーなどへ使用されている。ベシック翹での種剥きの様子やひまわり油のパッケージングの様子などの作業については、ひまわりブログに掲載している。

ひまわりブログは、障がいを持つ仲間たち自身が取材から原稿作成、更新作業などを行っており、二〇一六年度も平日はほぼ毎日のように更新してきた。ベシック翹でのひまわりプロジェクトに関する作業についての他に、ひまわり油「みんなの手」を使ったレシピ紹介や障がいを持つ仲間が描いたひまわりイラストの紹介、ひまわりの栽培が盛んな時期には全国から寄せられたひまわり栽培報告の紹介、さらに種の到着状況などについてもお伝えしている。是非一度ご覧いただきたい。



最新情報はブログ記事をご覧ください！

blog「ひまわりプロジェクト 2017」

URL <http://shalom-net.jp/himawari/>

◆賛助会員登録のお願い

ひまわりプロジェクトではひまわりを育てていただくことが福島の人々への支援となっているが、ひまわりに水やりをしていると散歩中の地域の子どもたちとの交流が生まれた、学校の総合学習として福島を想いながらひまわりを育てることで相手を思いやる気持ちや養えたなど、各栽培地域においても報告が多くなっているという報告が多くなった。ひまわりを通して相互支援ネットワークが、福島と県外の団体だけでなく各栽培地域の中でも細微に形成されつつあることがわかる。

このように毎年発展し続けているひまわりプロジェクトは、二〇一七年度も行う予定であり、募集の準備が進められている。準備が整い次第募集中内を申込書と合わせて発送予定である。申込みは電話、FAX、メールの他、ひまわりプロジェクトホームページにある協力者お申込フォームからも受け付ける予定である。

また、前述した通り、ひまわりプロジェクトが栽培地域にその効果をもたらすことで全国各地からプロジェクトの永续性を求める声があがっている。これらの声に応えるため、今年度からシャロームの賛助会員を広く呼びかけていくこととなった。賛助会員に登録いただいた方には特典と

して「ひまわり油「みんなの手」一本またはひまわりの種を使ったクッキーのいずれか、希望するひまわりプロジェクト成果品を発送予定である。これまでひまわりの栽培はしてきたが成果品を手にとることがないという方も、是非これを機にプロジェクトの成果品を味わってほしい。一人でも多くの方に賛助会員へ登録いただけるよう願っている。(Y・K)



▶ひまわりクッキーには恵の仲間たちの手書きメッセージカード入り。



▶ひまわり油「みんなの手」。無添加の一番搾りオイルです。

- 参加報告 - ケアする人の ケアセミナー in 福島

一月二日(日)、郡山市のビックパレットにて、一般財団法人住友生命福祉文化財団と一般財団法人たんぼほの家主催の「ケアする人のケアセミナー in 福島」が開催され、シャロームも協力団体として参加した。主催者あいさつの後、東北学院大学教養学部地域構想学科の金菱清教授と一般財団法人たんぼほの家の播磨晴夫理事長による基調講演がそれぞれ行われた。その後ランチタイム・コンサートとして、一般社団法人 PLAN 生田流箏曲佳寿美会若手箏曲演奏かすみつ子による琴の演奏を楽しんだ。

ランチタイムのあとは、①ともにも回復する現場、②ケアする家族をどう支えるか、③つがくカフエー希望を編むの三つの分科会において震災・放射能によつて分断されたコミュニティから、支え合いの文化をどう編みなおすかが話し

合われ、最後に総括として各分科会で話し合われた内容を全員で共有した。また会場では、障がいを持つ仲間たちが作った製品や講師の著書などの販売ブースが設けられ賑わっていた。
シャロームの活動においても福島という地で人権について考える機会を設けているが、今回セミナーに参加したことで改めて命の大切さや互いに助け合える環境を作ることが大切さについて考えることができた。(Y・K)

熊本地地震 お見舞金のお問い合わせ

熊本・大分県の大地震で被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

シャロームでは熊本地地震・お見舞金のご寄付を募っております。皆さまからお預かりしたお見舞金は、グリーンコープ共同体、生活協同組合連合会グリーンコープ連合会さんを通じて九州地方へお届けいたします。

- ①直接ご持参いただける方：「まちなか夢工房」店頭で募金箱を設置いたしました
- ②遠方の方：郵便局の郵便振込にてご送金ください

〈お振込先〉
No. 02260-7-90324
宛名 シャローム
通信欄 九州地震お見舞金